

勝山市移住定住に伴う支援制度

支援制度の中でも移住定住に関係が深いもののみを抜粋しています。

①対象者 ②事業内容 ③問い合わせ先

暮らす

●定住化促進事業

- ①住宅を取得した市内在住の40歳以下の方または移住者（条件有り）
- ②新築は最高100万円、中古取得は最高50万円。取得の際に市内業者にてリフォームした場合は最高50万円を加算
- ③建設課（市民会館2階） ☎88-8107

●U・Iターン者・子育て世帯空き家住まい支援事業

- ①勝山市空き家情報バンクに登録された住宅を取得した県外からの移住者（条件有り）または子育て世帯
- ②最高50万円。取得の際に市内業者にてリフォームした場合は最高50万円を加算
- ③建設課（市民会館2階） ☎88-8107

●家賃助成事業

- ①民間の賃貸住宅に入居した移住者
- ②家賃から住宅手当を控除した額の半額を助成（最高月額1万円、2年間）。45歳以下の認定新規就農者または子育て世帯にはそれぞれ月額1万円を加算
- ③ふるさと創生・移住課（市役所2階） ☎88-8130

●引越費用助成事業

- ①定住化促進事業、U・Iターン者空き家住まい支援事業、家賃助成事業を受けた移住者
- ②移住に際してかかった引っ越し費用の2/3を助成（最高10万円）

働く

●医療及び介護人材緊急確保奨励金交付事業

- ①医療機関及び介護サービス事業で看護師、介護職員として働く新規卒業者または移住者
- ②月額10万円を3年間交付
- ③健康長寿課（すこやか） ☎87-0888

●市外通勤支援給付金交付事業

- ①市外の事業所（市境から20km以上）に通勤する移住者
- ②月額2,000円を2年間交付
- ③ふるさと創生・移住課（市役所2階） ☎88-8130

育てる

●子ども医療費助成制度

- ①中学生以下の児童
- ②医療費（保険適用分）を全額助成
- ③福祉・児童課（すこやか） ☎87-0777

●病児（病後児）保育事業

- ①小学生以下の児童
- ②月額2,000円で病児保育園を利用可能
- ③福祉・児童課（すこやか） ☎87-0777

●保育料の軽減

- ①第3子以降または市民税非課税世帯の第2子
- ②保育料無料（上記以外にも2人同時入園の場合は2人目半額、ひとり親世帯等には所得により第1子から軽減措置）
- ③福祉・児童課（すこやか） ☎87-0777

●放課後児童クラブ（学童保育）

- ①利用を希望する小学生
- ②利用料無料
- ③福祉・児童課（すこやか） ☎87-0777

学ぶ

●育英資金奨学金返還減免

- ①県外大学等を卒業後、市内に定住した育英資金奨学金利用者
- ②返還額の1/4を3年間減免（市内医療機関の看護師または介護サービス従事者は1/2、市内医療機関の医師は全額を3年間減免）
- ③教育総務課（教育会館2階） ☎88-8111

●教育資金利子補給

- ①教育金融融資を受けている市内定住者
- ②利子額の2/3を3年間（最高年額5万円）
- ③ふるさと創生・移住課（市役所2階） ☎88-8130

移住定住のご相談は
ふるさと創生・移住課
（市役所2階 ☎88-8130）



ヨツボノ庭園



（右）榎家彩子さん（49）沢町2
（左）三寄静代さん（60）本町3

☎090-2038-5754（榎家）

市民の方も 移住された方も幸せに

「四葉のクローバー会」。移住された方の心のよりどころとなり、勝山への早期定着を目指し、平成21年に発足。移住された方を中心に交流や名所巡りなどの活動を実施し、今年で9年目の活動を迎えています。

現在は子育て世代の会員が増え、「ヨツボノ菜園」にて子どもたちと野菜を育てているそうです。「土にまみれながら野菜を育て、収穫し、食べる。普段できない体験を通して、子どもも大人もたくさんパワーをもらっている」と一つの家族的な交流を楽しんでいるそうです。

「会では、安心して、一市民

として溶け込んでもらえたら」と話す榎家さん（京都府出身）と三寄さん（兵庫県出身）。

「会のメンバーは、近からず遠からずの存在。同じ境遇だから分かる事がある」また、「会では、子育て世代と先輩方が交流している。経験したからこそわかる先輩方からのアドバイスは安心感を与える。逆に今の子育て方法は、先輩方へ刺激を与えている」と育児から普段の生活での悩みごと、何気ないことまで、気軽に話せる場となっているそうです。

「今後も地域に溶け込みながら自分たちの個性も発揮できるような活動を続けていきたい。どなたでも気軽にご参加ください」と話していました。

《移住コンシェルジュ》

勝山市へいつでもお越しください

移住希望者や移住者の相談に対応・支援する《移住コンシェルジュ》の安岡さん。

今年の春から、相談対応や市内外の企業などへの情報提供など、積極的に活動しています。

「移住希望者の勝山に対するイメージを作る重要な仕事」とその責任感を背負いながら「移住者の方はどんな情報を求めているのか。そこに多くの時間を割いている」と相談される方の立場にたった親身な対応に心がけています。

また「こちらには住居・仕事・子育て・病院・スーパーなど多岐に渡る相談が寄せられている。各機関と連携し、随時新しい情報を収集している」と新しい情報の提供を心がけています。



移住 コンシェルジュの お仕事

- ①移住者への支援（円滑な移住と定住への助言・支援）
- ②情報収集（空き家情報、仕事情報、移住者のニーズ調査など）
- ③連絡調整（宅地建物取引業者、市内事業所、地域住民、その他関係機関など）

安岡晴夫（64）旭町2
勝山市出身。金融関係の仕事に従事し、東京や滋賀県でも勤務。「育ててくれた故郷で少しでもお役に立てれば」との思いからコンシェルジュに従事。

また、情報の共有にも力を入れており、「市内外の企業、各種団体にも市の支援内容を知ってもらいたい」と企業まわりも積極的に取り組んでいます。

「ある方から相談者が安岡さんのことを勝山のお父さんと言っていたよ、と聞いた時は嬉しかった。今後、相談者から安心して頼られる存在を目指す」と話していました。

新しくできた 相談室



木目調の落ち着いた雰囲気相談室が市役所2階にできました。気軽にお立ち寄りください。